

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達LABO. Proリハ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日 ～ 2026年 2月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54 (回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日 ～ 2026年 2月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基本こども1人につきスタッフが2人に対応できている 専門職が配置されている 専門性の高いスタッフが療育に携われるところ 個々に対応でき、療育の幅を広げられる体性	細かい設定が必要な子の情報共有をおこなっている どの様なニーズや目的で通所するか事前に把握する 限られた時間の中で公立よく淳義や伝達を行う	担当が休みでも同じが対応できるよう写真を撮るなどして同 じ療育ができる工夫をしている より充実した療育ができるように知識や経験を増やす スタッフミーティングなどで業務内容の確認を行い分りや すくしていく
2	保護者への支援がしっかりしているところ。定期的に面談をし て必要に応じて休会や再開ができる	定期的な面談をおこなっている	現在の関りを継続していく
3	職員間の中の良さ。年齢関係なく意見を伝えられる点	業務改善改善が常に行われている	継続して気になる点は業務改善を繰り返す行う

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	担当がついていない児童の情報共有があまりされていない 職員の急な休みで代わりに担当する時にニーズに沿った療育が できているか不安	全体で話をする場がすくない 誰もがみてすぐわかるような情報の共有が難しい点	隙間時間などで定期的に話を共有する 自分の担当以外の児童の情報も把握できるような工夫
2	業務量は少ないが業務の偏りが見られる 1つ1つのその時に行う業務はできるが、流れの確認が必要な業 務は一通りレクチャーが必要	統一しても継続が難しい 管理するものが多い	業務改善の繰り返しを行う 物品の整理や洗い出しを行い整理をしていく
3	キャンセル待ちなどのイレギュラーな連絡の共有が難しいとこ ろ	特定の人しか知らない、みんなで意識が統一できていない点	週間スケジュール等皆で共有できるスペースに啓示する